

香美市教育委員会定例会会議録

(令和4年12月28日)

招集年月日 令和4年12月21日(水)
招集場所 香美市本庁舎 2階会議室
会議の日時 令和4年12月28日(水) 午前9時00分
出席者 白川 景子 宮地 憲一 浜田 正彦 西 美紀 小松 清貴
欠席者 なし

説明のための会議出席者

教育次長	秋月 建樹
教育振興課長	公文 薫
生涯学習振興課長	黍原 美貴子
教育振興課主監	明石 芳文
教育振興課学校教育班長	一圓 まどか
教育振興課学校教育係長	横田 尚明
教育振興課学校教育班	浜田 礼奈

職務のための会議出席者

会議録署名委員

宮地委員

傍聴人氏名

なし

(開会時刻 午前11時40分)

教育長 それでは皆様おはようございます。ただ今から令和4年12月、本年最後の教育委員会定例会を開催いたします。よろしく願いいたします。本日の委員会の出席の委員様は全員ご出席でございますので、本会は成立してございますので進めてまいりたいと思います。

 本日の会議録の署名委員は宮地委員です。よろしく願いいたします。

 それではまず、前会議事録の承認につきましてお願いいたします。いかがでしょうか。

各委員 ないですね、いいですね。

教育長 では、ご承認いただきましたのでよろしくお願いいたします。

 続きまして、教育長の報告といたしまして、実は香美市教育委員会が表彰をされました。内示の段階ですけれども、これはキャリア教育優良教育委員会として、文部科学大臣表彰をいただくことになりました。皆様のこれまでの取り組みの成果の賜物と、心からお慶びと敬意を表したいと思います。本当におめでございました。

各委員 良かったですねえ。

教育長 良かったです。本当にコロナの中で去年度も今年度も継続して、しっかり取り組みましたところと、それから、去年度はキャリアリンクさんという専門に事業を行っているところに委託をして、これが日本全国を、もう世界で活躍している企業の皆様とリモートで繋いでの、中学2年生がキャリア体験を積んだわけですけれども、今年度はその時の反省を生かして、やはり地元の企業の方に実際にお話を伺うということも取り入れて、積極的にやっていきたいということで、例えば香北中学校でしたら、湖畔遊の方においでいただいたりなどして、地元の方達からも大変大きなご協力をいただいた結果です。大栃のほうも靴屋さんをしてらっしゃる方に来ていただいたかと思います。そういったこれまでの取り組みの実績が認められて、1月に東京のほうで表彰式があるということですが、これももうリモートでさせていただくことになっておりますが、本当におめでございました。ありがとうございました。

 それから、無事23日には終業式を行いました。当日は朝大雪でして、どうなることかと、えーっと思って、まあこちらに来てみましたけれども、土佐山田町から上、香北町も物部町もそんなに雪は多くなかった。その3つで言えば土佐山田町が一番積もっていたというところで、私の庭には1センチを超す雪でもうすっぽり覆われていました。私もこちらに来てから、あれほどこう庭木に、すっぽ

り1センチと超える雪が冠雪するということは初めてだったので驚いたんですけど、高知市内から通ってきているうちの職員さんが、遅れますとか、車が動きませんというご連絡があった。なんと観測史上初の降雪であったというところでしたけれども、子ども達は無事に登校してまいりました。それで、1名香長小学校の子どもさんが登校不能ですと、行けませんというところで連絡があった方が1名で、あとはもう普段通りに登校してきたという状況でございました。まあそんな状況で、2学期もいろいろございましたけれども、最終はそれぞれ校長先生から、昨日無事通知表渡しも終えて、まあ穏やかに2学期を終えることが出来ましたというご報告をいただいたところでございます。

私どものほうからは、この年末年始、おめでたいことが続く中で、なかなかそういう状況に無いご家庭の子どもさんや、それから不登校気味の子どもさんにとっては、年が明けて3学期に元気に登校して来るというには、またエネルギーが必要になってくると思うので、そこへのご支援をお願いをしたいということをお願いしたような次第でございます。これも、まあそういうふう、一定落ち着いた中で2学期を終了出来ましたこと、本当に心からお礼を申し上げたいと思います。いろいろご心配もおかけしました。ありがとうございました。また新年に向けてよろしく願いいたします。

それでは、議事に移りたいと思います。

令和4年12月、香美市教育委員会定例会の提出議案の第1号、香美市高等学校等奨学金の給付に関する規則の一部を改正する規則の制定につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

議案第1号「香美市高等学校等奨学金の給付に関する規則の一部を改正する規則の制定について」

事務局 (議案説明)

教育長 ご質問、ご意見等、審議お願いいたします。

浜田委員 よろしいですか。

教育長 はい、お願いいたします。

浜田委員 1つだけ、「香美市において」という言葉は必要ですかと、ちょっと読んで、この「香美市において」は無くても別に文章的には全然おかしくない。「香美市において」と言うと、何かそこがと引っ掛かる。

- 事務局 そうですね、これがですね、香美市に税務情報が登録されていれば確認が出来るんですけど、例えばですね、保護者の方が香美市に在住していることっていうのはこの給付の要件にはなっているんですが、子どもさんが例えば学生が、県外の大学へ通われていて、アルバイトなんかで住登当外課税なんかをされて、住民登録していないところで課税をされている場合は、その情報っていうのはこちらでは分からない場合があります。なので、その場合はその市町村で取っていただいて提出をしていただく必要があるということで、香美市において分かる場合については、提出は省略を出来ますよということにしています。
- 浜田委員 そういう場合もあるのか。
それと、後ろのほうに、一応調査されることに同意をするというのがあったので、同意した場合、赤字で書いてたよね、だからそれがあるから別に必要ないのかなという感じもあったので、聞きました。
- 教育振興課長 公用申請に該当するような事項ではないというところもあると思います。
- 宮地委員 保護者の負担が少しでも軽減になるのは良いと思います。事務局のほう、そっちのほうやっぱり、事務処理上具合が良いと思いますので、良いと思います。
- 浜田委員 まあ文章的に中で揉んで、問題が無ければ、いいです。
- 教育長 他にございませんでしょうか。
- 小松委員 議案1-3の中段の備考のところ「1 申請者が成年者である場合」、成年者と言うのは、18歳以上という、成年、仮に高校3年生の場合はどうですか。
- 事務局 給付はあくまでご本人さんの口座ということになっていきますので、成年をした場合は、もうその方の申請によってという形になります。
- 小松委員 定時制とか、通信制とかそんな関係ですかね。はい、分かりました。
- 教育長 他にございませんでしょうか。
それでは、議案第1号は承認をいただけますでしょうか。

「はい」という声あり

教育長

はい、ありがとうございました。議案第1号は承認をされました。
続きまして、議案第2号、通学区域（校区）外通学について、事務局から説明を
お願いいたします。

議案第2号「通学区域（校区）外通学について」

（議案第2号は、非公開案件審議）

議案第3号「通学区域（校区）外通学について」

（議案第3号は、非公開案件審議）

議案第4号「区域外就学について」

（議案第4号は、非公開案件審議）

議案第5号「香美市立大栃中学校における山村留学の令和6年度以降の実施に
ついて」

事務局

（議案説明）

教育振興課長

添付資料として、今までもご説明をしてきたものを今後のバージョンにちょっ
と変化をさせたものと、それから具体的な取り組み、ここもこれから揉んでいか
んといかんところやと思います。

それと想定される経費、足りない部分もあると思いますけれども、そこについ
ても今回入れさせていただきました。今後の予算計上等をしていかんといかん
というところで、寄宿舍のほうに改修するための経費と、それから、そこに設備を
しないといけないというところで、この2つぐらいと、それから、消耗品等で計
上しています。

裏面にありますのが、今後寄宿舍を運営するに当たって必要であると思われる
経費につきまして、今香北町の啓明寮がありますので、そこをちょっとベースに
考えたものです。足りない部分も出てくると思います。一番下に寮費（仮）と書
いてあるのが、今後それは検討していかないといけない寮費なんですけれど、
本川と大川のほうに視察に行かせていただいて、その中間辺りをちょっと考え
て、ここにちょっと書かせていただいているものです。

もう一つ、資料6と書いてありますが、これは物部町活性化検討委員会でいつも

出させていただいている人数の資料を次に付けさせていただきます。それを令和4年12月20日推計というところで、一番最新というところを出させていただきます。これは住民票等を参考にしながら計算したものです。なかなか厳しい状況が続いております。今後、保育園のほうの入所を増やしていく等のことも、今定住推進課のほうとか、支所等とも話をしているところですが、令和6年度に向けて、令和5年度にはどういう形で運営するとか、そういうところを話していかないといけないという話は保育園のほうはしております。小学校と中学校、中学校の一番下のところに手書きで申し訳ないんですけども、4人受け入れた場合、6人受け入れた場合っていうところで、留学生を受け入れた時の人数をそれぞれ書いております。なかなか厳しい状況が続いておりますが、これを含めて予算もかかることですので、最終確認というところで、この厳しい状況の数字も出させていただきました。

次が、これは今教員住宅のほうを改修する設計をしていただいているところに出してもらった外観のところ、今アパート形式ですので、ちょっと少し囲うような形が出来ないかということもお伝えをして、ただ、ここアパート形式なので、消防法とか、消防の関係でどうしても人が入れるスペースは開けちゃかんといかんというようなこともあって、こういう形でちょっと囲うと言うか、そういう形を示していただいたので、ここに付けさせていただきます。

次は地元が後押しをしますというところで要望書と言うか、そういうのが出てきておりますので、それを参考に付けさせていただきますのと、それから、本川中学校の山村留学の募集要項を参考に付けさせていただきます。今後こういう目的とか期間とか、そういう細かいところを考えていくに当たって、ここで進めていいというお墨付きをいただきたいというところで、今回議案に出させていただきます。よろしくお願いたします。

教育長 これはちょっと丁寧に、今までの議案も丁寧にしてきましたけれども、スケジュールのところから再度確認をしながら、進めていけたらと思いますけれども、よろしゅうございますか。
それでは1枚目のペーパーから。

教育振興課長 ざっと今説明をさせていただいた資料の山村留学の具体的スケジュールというところで、令和4年度を今実施をしているところですので、そこについての一番最初の補正予算計上というところから、寄宿舍への転用に向けて改修設計、これが令和4年度にしているものです。先ほど写真でお見せしたようなところで設計を今お願いをしているところで、改修工事につきましては、令和5年度、予算が通れば、もう4月から取り組みたいというところです。今の情勢等もあります

ので、6カ月程度工事期間はかかるのではないかと聞いておりますので、4月から入札で実施をして、10月か11月に完成予定になっております。

あと、山村留学に向けての要綱、実施計画、条例策定等というのを、どうしても必要な部分についてになりますけれども、そこについては教員住宅、今条例で設置条例がありますので、そちらを変更するというのを考えていくのが一番、条例等の策定についてはそこが一番急がれるところで、今想定しておりますのは、教員住宅、今大栃のほうの番地になっておりますが、そこを全面的に廃止するのか、あと、今香北町の啓明寮のほう、昔工科大の留学生を受け入れるような条例がありまして、そこが1人ずつの生活が出来るような光熱水費も別に払えるようなことが出来るように2階のほうがなってますので、教員住宅が全然無いっていうのも、今後困ることがあるかというところで、啓明寮の2階を一部教員住宅に使うということも視野に入れて、ここの条例についてはちょっと考えていきたいと思っております。山村留学の具体的な要綱と実施計画等は、仮ではありませんけれども、山村留学の検討委員会、まあ仮になってますけど、そういうところで揉んで決めていくということが必要であると思っております。それが大体こう、道筋が付いたらパンフレット作成を、令和5年度夏頃までにはして、こういうことがあるというPRをしていかんといかんと思っておりますので、パンフレットは夏頃までという思いでここに書かせていただいております。

先ほどの教員住宅の条例等の議決は3月にして、山村留学に向けての募集を開始をしていくというところが次。

今それと、今度令和5年度に工事の費用と備品とか消耗品等を買揃えるのは令和5年度になると思っておりますので、その当初予算計上に向けて、積算をして計上を今しているところです。これは3月の議会で承認をいただけたら実施していけるというところになります。

一番最後に書いてあるのが、教育委員会で実施に向けて最終承認をいただくということと、令和4年度にしたこととしたら、総合教育会議で市長にも説明はさせていただいたというところを此処に書かせていただいております。

令和6年度に受け入れを開始をするという予定で、令和5年度については、山村留学の希望者の見学会等も計画をしていったらどうかというところで、此処に書かせていただいておりますのと、それから、山村留学希望者の面接とか、留学生の決定、そういうことが必要になってくると、令和6年度から実施するので、当初予算、令和6年度以降の分を順次計上をしていくというところで此処に書かせていただいております。

あと、その下に囲っている部分については、今後地元からも応援体制っていうのが必要になって来ると思っておりますので、留学生の応援隊的なところを立ち上げて

いただくような働きかけも必要になってくると思いますし、留学生の土日等の支援の検証、どういうふうにしていくのか、そういうことも必要になってくると思いますので、アウトラインの大ざっぱなスケジュールではありますが、こちらに書かせていただいております。

スケジュール等はこんな感じで、また抜けている部分については、その都度ご承認いただいたら、それでやっていくというところになってくると思います。

裏については、もう今までもずっと書いてきたものですので、こちらは見ておいていただいたらというところで、地元の住民の支援っていうところに、一番は留学生が来た時の温かい見守りっていうのが必要なので、住民の皆さんにも周知をして、皆さんの物部で温かく見守ってほしいという気運は地元で温めて欲しいというところで書かせていただいております。

それと、物部町の活性化という点から言ったら、やっぱり寮母さんとか、それから舎監さんの代わりに土日に泊まる方とか、そういうものについては地元で落とせる、物部の方にさせていただいて、物部でお金を落としていけるっていうようなことを考えていくということも一つやと思っておりますので、こちらに寄宿舎の平日とか夕方、土日・祝日の食事関係とか業務とか、土日の舎監業務、そういうことを入らせていただいて、地元の支援を求めたいというところです。

そういうことです。先ほどお話ししましたように応援団的な組織も出来れば立ち上げていただくなどして、全面バックアップをしていただきたいということをお願いをしていきたい。これは常々ずっと、コミュニティスクールとか、それから自治長会とか、そういうところにも出しておりますので、こういうことはご協力をいただきたいということは住民の皆さんには、こういう支援が無ければ成り立っていきませんっていう話は常々させていただいているものです。教育委員会事務局の作業は、先ほど言ったようなものをしていくというようなことで、具体的な取り組みは書かせていただいております。

教育長 ありがとうございました。
 まずは、それではスケジュールにつきまして、ご質問、ご意見等をいただきたい
 と思います。

浜田委員 先に議案のほうを構いませんか。

教育長 分かりました。それでは併せて。

浜田委員 細かいことでごめんなさい。中学校の複式学級の解消は何名から？

教育長 9名からです。

浜田委員 9名。まあ小学校も同じですね。
そうした場合、ここの目的のところに、「令和6年度以降の複式学級解消及び生徒数の確保を目的とする。」って書いてあるけど、まずは生徒さんの確保ですよ。それに基づいて解消するがやけど、なかなか解消は、令和6年度以降の小学校から入って来る人数を見ると、難しいんじゃないかと、6名、その後も6名の施設が無いので、あんまり解消を強調すると、実質的に議会等で説明が難しいのでは。

教育振興課長 まあ、山村留学だけで解消するという考えではないというところもありますけれども、基本的に山村留学の一番の最初の目的としたら、解消をというところがあったものですから、今まで説明するのに、令和6年度の複式を解消というところをご説明をして今まで来た経緯があるので、ここにも書かせていただいています。それだけではいけないと思って、後へ付け、最新の数を見よったら、複式学級の解消だけではなく、やっぱり生徒さんの確保をしていかんといかんというところで、それを後から目的の中に付けたという、ちょっと。

浜田委員 まあ、普通やったら逆よね。生徒数の確保をしてきたら自然と解消されるがやけど、物理的な部分で今やろうとした計画と、それが整合性が無い。6名の宿舍を構えたとしても、次の年にどうするんだとかいろいろ問題が発生するので、目的だから文章は出来るだけ整合性が取れるように。

教育振興課長 ここ除けましょうか。

宮地委員 確実に特認校って来年1人、入学するっていうのが見込まれてますよね。2人ですかね、女の子1人やったやない？

一圓班長 一応外部から来る子が1人で、今現在、途中で来ゆう子が1人。

宮地委員 他市から来た子、その子が1人。だからそれ入れたら2人やけど、特認校はそこで1人という成果はあったと。でも、今浜田委員が言われゆうように、なかなかこれ状況を見て、複式の解消は難しいと思うね。むしろ生徒を確保して、学校の存続を図るくらいのことしちよいたほうがいいと思いますね。

教育長 そうですね。

教育振興課長 そしたらもう、この複式学級解消のところは除けます。及びまでを除けて、もう以降の生徒数の確保を目的とするという。

宮地委員 ちょっと厳しい。

教育長 議案第5号の目的について確認をさせていただきます。
ここに記載されております「複式学級解消及び」を削除して、「物部町の活性化に寄与するべく児童生徒減少に歯止めをかける施策のひとつとして、山村留学生を受け入れることで香美市立大柵中学校の令和6年度以降の生徒数の確保を目的とする。」これでよろしゅうございますか。
それでは、目的につきましては、ご指摘のありましたように変更させていただくことといたしますが、よろしゅうございますか。

「はい」という声あり

教育長 ありがとうございます。

宮地委員 試算しよっても14ですきね、だから複式になりますわね。

教育振興課長 Iターン、Uターンも力を入れていただいて、市長部局のほうにもそういうところも連携をしながらやっていかんといかん部分だと思いますが。もう山村留学だけでこう成り立たせようというところではなくって、総合的に物部の人口をどうするっていう、今後、本題になってこようと思いますので。

教育長 それでは、スケジュールにつきましてお願いいたします。

宮地委員 公文課長、すごくこれまでですね、ほんとに熱心に取り組んでこられて、非常に綿密な計画を立てられていると思います。ほんとにご苦労様でございました。ありがとうございました。

その一つ、先ほど言ったいわゆる山村留学の実施検討委員会ですか、仮称を書いているんですが、それを早く立ち上げないと、結局勝負はもう来年度、令和5年度に勝負をかけないけませんので、この組織を早く立ち上げんといかんと思います。出来れば地元中心にして、そして、きちんとアドバイスが出来る委員さんも入れて、いわゆる、要するに検討もするけれども実働もするんだというような形の方々でもって、いよいよ具体的にこの計画を立てて、その基に令和5年度中

にきちんと体制が出来るように、それを早く思いました。多分5年度にやったらもう、ちょっと間に合わないと思います。

教育振興課長 ありがとうございます。今回もう最終的に、最終確認と言うか…

教育長 それでは、今宮地委員さんのほうからお話がありました物部町活性化検討委員会、これ仮称ですけども、このことにつきまして今後の事務局の予定、それから一定の筋道と言うか、見通しがあるというところであれば、それを今ご説明いただいても構いませんか。

実は、令和5年度1月行事予定の一覧表の一番下のところに、資料としてお渡しをさせていただいております令和5年1月行事予定の表の一番下の③物部町活性化検討委員会（予定）というところを記載してございますが、これについて、今ここでそしたら、詳細について、事務局よりご説明お願いいたします。

教育振興課長 最終確認の意味を込めてということで提案理由をさせていただきましたこの議案につきまして、承認をいただきましてからというところにはなるということで、その後令和5年1月中には、物部町活性化検討委員会のある程度の一定の役割的なものは、中間提言も出していただきましたので、それを最終提言という形で、今年度で活性化検討委員会というのは、役目を、発展的な解消みたいところでしていきたいというところで、1月にはそれを1回開かせていただくと共に、その後はそのメンバーの方にも入っていただいて、検討委員会っていうふうにシフトをしていきたいというところで、1月下旬くらいには活性化検討委員会を開かせていただいて、その後、2月上旬には検討委員会、まあ仮称なのでこれは名前をきちんと決めて、要綱も作って、山村留学に向けての実質的な動きをしていくというようなことで、3月中と言うか3月の議会では、全員協議会等で議員さんにもご説明をさせていただかないといけないと思っておりますので、そこに向けての大きな枠組みの、今は山村留学をしますっていう話しかしてないところを、こういう目的、こういうこと、こういう実施をしていくっていう粗々なところのお話出来るような、検討委員会を2月ぐらいには協議を重ねていきたいということを今考えているところです。4月以降もその検討委員会は、山村留学に向けて進めていかんといかんと思いますけど、一応3月までには、ご承認をいただいたらもう直ぐに動いていけるような形をしていきたいと思っております。

教育長 1月の末、例えば27、30日の夜辺りに物部町活性化検討委員会を開催をし、先ほど課長のほうからご説明がありましたように、教育委員会としての役割は、

今後更に具体の取り組みについて検討をする会を立ち上げることによって、そちらに移行させていただきますと。全体としては市長部局のほうへお譲りをいたします、譲ると言うかお返しを、市長部局のほうで後は果たしていただくところが中心になりますので、そちらのほうに移しますということの会議をこの1月末に行って、それをお伝えをしていくということになります。市長のほうには、一定この辺りの大まかな説明はさせていただいておるところでございます。そして、2月の第1週は、前時久教育長様の祝賀会がございまして、ここは盛大にさせていただきたい、皆様よろしくお願ひいたします。思っております、それから、2月3日の金曜日が大宮小学校で、全国の小学校の英語の大会がございまして、この2つを終わらせて、その次の週に今課長のほうからご提案がございました、具体的な山村留学継続に向けての検討委員会を立ち上げて、まず行っていきたいというところなんです。

したがいまして、1月25日が定例教育委員会となっております。この時に検討委員会のメンバーにつきまして、ご承認をいただきたいと考えておるところでございます。

その下準備といたしまして、昨日、上村校長と私ども事務局とで話し合いをしまして、どういったメンバーが良いのかというところを実は協議を重ねたところなんです。ここに間に合えばという話も出たんですけど、どうもやはりその順番をきちんと踏んでいかんといかんということになりますので、次回の教育委員会で、メンバーについてはご承認をいただくことが良からうかというところでございます。

教育振興課長 ただ要綱等も整備をして、そこも承認をいただいて、そのメンバーっていうところもありますので、またご相談をさせていただくように、地元も入れるという話もさせていただいていくというところと、あと検討委員会は検討委員会で立ち上げるということと、それから事務局として、事務局も素案を考えたりいろいろとしていかないといけないというところで、物部町の支所長、それから分室がこれから担っていただく部分が多いので、そこも含めての事務局もまた話をしながら、検討委員会のほうにお願いをして、考えていただいてというところを両輪で行くようにはさせていただきたい。まあ余り人数が多いと、なかなか話がまとまらないというところもありますので、活性化検討委員会で話をさせていただいたメンバーの中からもなるべく出ていただいて、地元もそこに入ってきていただいてたので、そのメンバーと、それからPTAとか、そういうところにもお願いをせんといかんというところで、まあ7、8人というところを考えています。

宮地委員 いずれにしても、上村校長の実質の負担が大きくなるき、でも仕方ないね。

教育振興課長 一応の案ですが、物部町活性化検討委員会というところで宮地委員さん。

宮地委員 私もですか。

教育振興課長 なかなか言いにくかったです。まだお願いもしてないところで、宮地委員さんと信崎所長、それから、今CSの会長の藤原さん、校長が上村校長と、大栃小学校の山内校長、それから、大栃中学校のコーディネーター、地域コーディネーターしてくれてます小松さん、それと、それからPTA会長の山下さん、それから竹崎物部支所長、そういうところを今考えています。それをメンバーにどうであろうということで、昨日ちょっと話をしたところです。

宮地委員 公文直樹君は、あつ、そら議員やきいかんか。

教育振興課長 議員なんです。

宮地委員 ちょっと痛いですね。

浜田委員 活性化委員会は、山村留学を続けるがやったら今のメンバーでいいんですけど、もう市長部局へそれを返すのであれば、もっとその何と言うか、公文君も、要は物部町の存続言うたらおかしいけど非常に大事な部分で、それで、議員さん言うがは、小松議長の時に、行政のやることに対して、意見を言わないかんのだから一緒にやっていたらいかんということで議員は除かれているがやけど、そういう次元ではもう無いのでは。

宮地委員 もう切羽詰まっちゃうわけやきね。

浜田委員 だから、もう実際地域代表として議員は選ばれているので、こういう場合は例外があってもいいのでは、その地域をしょって立つリーダーが引っ張って行かないと、こういう検討委員会というのは絶対に、ただ議論する場だけになるので、そこが非常に心配ですよ。

教育長 はい、そうですね。

教育振興課長 そのところについては、議会のほうにも検討していただくようお願いもし

ていかんといかんかなあとは。

浜田委員 特に今は山本さんが議長なので、だから、そういう意味で根回しも含めて、本当にその辺を考えないと、形だけ作った、まあ議論は一杯やってくれていろんな意見が出てくるでしょうけど、結果的に返っていくのは地元なので。

宮地委員 どうしても委員がいかんかったら、せめてオブザーバーのような形で入ってもらうたら、議論に入っていただくというよりも。

教育振興課長 まあ先ほど言ったプラスアルファっていう部分、情報は入れながら協力はしていただかないと、形だけ作って、地元からも要望も出ちゅうところも、地元の覚悟っていうところにもなってこようかとは思っているので、そこはまた相談して、委員としてじゃないかもしれんけど、まあ教育長が認める人とかいうところを要綱のところで作って、一緒に検討していくっていうこともちょっと考えてはいかんといかんかな。

教育長 小松委員さん、その辺りどうですかねえ。

小松委員 活性化検討委員会を新たに選任するっていうこと？

教育振興課長 いえ、違います。

教育長 ごめんなさい、この書き方がおかしい。

宮地委員 活性化委員会はもう終わりと。

小松委員 山村留学の？

教育長 そうです、そうです、ごめんなさい。書き方が。

教育振興課長 まあ市長部局のほうに投げて、そこで揉んでいってもらおうという。

教育長 その後がですね、予定の次に山村留学の検討委員会を。

宮地委員 活性化検討委員会はですね、一応まあ最終提言みたいな形を取らないかんと思いますので、ですから、これまでいわゆる山村留学とかね、特認校っていう一定

の成果を見てきたと、だから今後は学校教育にとどまらずに、やっぱり広く物部町の活性化について議論をしていかないかなる、移住も見据えてですね。だからその為に一旦解消するけれども、後々市長部局のほうで検討していただきたいというふうな形になりますかね。

教育振興課長　　そういう形に多分委員さんもなっていくであろうというところで、市長部局のほうには、多分支所を中心に考えていかんといかんのではないかと、私個人的には思うちゅうがですけど、そこら辺の体制も含めて、市長のほうにはお願いをしていくように教育長さんにもお願いをしているところです。

教育長　　去年は青空市場が、秋でしたけれども開催をした時に、もうマルシェのような形で開催しましたが、物凄い方々が、多分物部から一旦外に出られた方達が多かったのかなと思いましたが、沢山ご参加があって、私ちょっと遅れて行ったら食べ物もう一切なかったというぐらい盛況で、それから各議員さん方も頑張ってくださいっていて、小松委員さんもお世話になっていましたけれども、そういったところからちょっと広げていただければ行けるのかなと。それでは、公文直樹議員のメンバー加入につきましては、どういう形になるかということが、今後のこととしてまずは議長さんに申し入れをして、検討していただけないかということをお願いをしていくというところで、よろしゅうございますか。

宮地委員　　地元代表ですのでね。

教育長　　はい、そう。それを背負って票も入っているわけですので。それで、このスケジュールのところに、令和4年度の上から3つ目の矢印ですけど、山村留学に向けての要綱、実施計画、条例策定等が、これは教員住宅の関係について条例、規約等の改正が必要になりますというご提案がございました。併せて、運営事務職を室に置くこと、設置することというようなことも書いておく必要がないでしょうかね。何か人事でお願いはしゅうけど、スルッとこう抜けられたらですね、ちょっと困るかなと思って。

教育振興課長　　まあこの細かいところは、また詰めていくようにはさせていただきたいと思えます。

浜田委員　　ちゃんと市長部局へ移行するように、もう一つ、竹崎支所長は商工観光課にもあったから、ある程度産業的な活性化の視点も持つてるけど、やっぱり仕事を作っ

ちやらんと、どうしてもいかない、定住、移住、そういう意味で、そういうことの意見をちゃんと言える方も将来的には入れていかざるを得ないので、いや、市長部局へ行った場合にね。物部の活性化言うた時に、ただ教育の面だけで今突っ走ってるけども、そうやないんだよと、本来言うたら全体があって、暮らしがあって、その中に産業、教育、そういうものがあるので、それが教育だけ、本末転倒や言うて、最初教育委員会が入っていくのは、本来言うたら市長部局が入って行って、それに併せて教育委員会が側面的にこういうことをやっていく、子育ても含めてという形にならないと、本来の活性化にはならないので。

教育振興課長 その話は今までも…

浜田委員 何回もね。

教育振興課長 はい。させていただいて来てます。

浜田委員 やってるけど、なかなか進まない。

宮地委員 ただ、さっき教育長が言われた、やっぱり本来この取り組みの、いわゆる事務的が中心になると、やっぱり物部分室が良いと思います。もうここでやるよりは、現地で。

教育振興課長 支所、支所ですよ。

浜田委員 竹崎君のほうでやってもら。

宮地委員 うん。そっちのほうで中心になって、どんどん進めていかんといかんと思うんです。どうしても、ここでやりよったらやっぱりズレがありますから。

教育振興課長 その話は折に触れ言うてます。

教育長 それをもう確実に、要綱等の中にしっかりと入れておかないと、人を減すとか何とか言われた時に、あれとこれと兼務かけてやってもらおうかみたいな話に。

教育振興課長 山村留学は物部分室ですよ。で、活性化のほうの今後市長部局で立ち上げるところは支所がっていうところですよ。

宮地委員 それは支所です。だから山村留学はもう教育委員会でやらないけませんからね、

分室でやらないかん。

教育振興課長 さっきちょっと検討委員会がこう2つあるので、山村留学については、分室に担っていただく部分が多いというところも要綱に入れらせてもらうような形をちょっと検討をしていきます。
また活性化については、投げ掛けをして、そちらのほうできちんと…

宮地委員 支所全体としてね。

教育振興課長 取り組んでもらうような形で、市長にお願いをするようにしていきたいというところでちょっとさび分けをして。

教育長 それで、1月18日に香美市協働推進本部会というものがございます。私一度しか参加したことがなくて、よく分からないまま参加してたんですけど、ここでは、香美市全体の動きをどう作っていくのかという話が行われたように私の中では記憶をしてございます。全然事前の説明が無かったので、その時はご意見申し上げる術が、全く資料も無くて、ただお聞きをして座っているという状況だったんですが、このことをここに持って行くということはちょっと違いますか。

教育振興課長 今度の課長会の辺りに活性化検討委員会の、教育委員会の活性化検討委員会というのは、最終提言をして、市長部局で考えていってくださいというような提言が出るような話になっておるといので、今後、市長部局のほうで検討していただくようにお願いしますというところを、課長会で。

教育長 そこが良いのか、それで協働本部の意味を探っていただいて、そこが良いのか、協働本部ってまちづくりについてみんなで意見を言い合うって感じだったんです、私のイメージでは。そうなるとする、そちらのほうが適切かな。

教育振興課長 そうですね。その良いほうと言うか、良いタイミングと良い方法っていうところを。

教育長 と言うのは、市長さんは宣言されてるわけですが、物部町の活性化についてはしっかりやりますと、これ市長さんが言われていることですから、そのことに対してこういう引継ぎ、こういうこと、ここまで教育委員会としてはやってきましたけれども、後は、そもそもとは言われませんが、後はもうそちらの、勿論私達は一生懸命これで回っていきますよと、市全体で動いていく方向をしっかりと

と、具体策として決めていきましょうっていうことで。

教育振興課長 タイミング的に言ったら、本当は提言が出て来てこうなりましたっていう説明をするのが一番良いような気はします。中間提言の時も、中間提言出てきましたっていうのは課長会でも報告をさせていただいた経緯はありますので…

教育長 何処で言うても構んと思う、2回言うても3回言うてもいい。

宮地委員 ですから、1月に最終をやって、あと取りまとめをして、少なくとも2月中には最終提言が出るようなスケジュールで行くと、何とかぎりぎり間に合っていくんじゃないかと思えますけどね。

教育長 そうですね。

教育振興課長 なので、そのタイミングはまた、ご相談させていただきながら…

生涯学習振興課長 なんか私、香北支所長しよったがですけども、その支所長をしよった時の感覚でいくと、香北町の地域活性の為の仕事っていうのは、謳われてなかったように思うがです。

教育振興課長 支所として。

生涯学習振興課長 その仕事について支所長が考えたりとか、課員と香北町の未来を考えるとかいうことの業務が妙に無かった、業務の分担の中に。ですから、やっぱりその辺りも、今の竹崎君にいきなりポンと振るんじゃないで、やっぱりそっから見直さんことにはいかんような、何か自分が仕事してなかったのかなと思ひながら、まあけんど妙にそういうことが無くって、お祭りに関する事とか、農政、農業に関する事とか、そういう細かな仕事は謳われちゃうがですけど、全体をどうするかとかいうことについて、支所長の権限と言うか、香北支所、物部支所の権限は無かったように思うので、何かちょっとそういうのも見直しをやってもらわないと妙に仕事しにくいんじゃないかなと思いました。

浜田委員 そうやね、余りにも仕事の規模が大きいので、ほんで支所長にポンと投げるのはなかなか難しい。けど、全く無いっていうのもおかしいですよ。

生涯学習振興課長 そうですよ、何かそういう、何か無いといかんんじゃないかなと。

教育長 そうですね、自分のチームみたいに。

宮地委員 事務分掌とか何とかいうところが無い。

生涯学習振興課長 そうそう、そこってなかったような感じがするので、あったら私、妙にもうちょっとやりゆうと思うけど…

宮地委員 だからそういう事務分掌で入れてもらったらいいなのです。

生涯学習振興課長 あんまり無かって。

宮地委員 改正してもらって。

教育長 ちょっと総務と相談を。

宮地委員 そうですね。

生涯学習振興課長 ごめんなさい。今条例見ずに言いゆうので、何となくそういうの無かったような気がする。

教育振興課長 無いと思う。もっと細かいところのこういうことっていうことしか無いので、地域の地域振興に関することみたいな、大きく括っちゃたものが支所に抜けちゆうという提案をして、それを入れていってもらったら。

教育長 今、物部町が危機的状況に近づいてきたというところがあって、今こういう話で進んでいるわけですけども、それはもう香北町も同様のこと、これも結局教育でいろいろ引っ張っている部分がございますので、やっぱりそこも同時にやっていっていかないと、ちょっとやっぱり、大栃がスタートダッシュがここまで来ての時に、ちょっと苦しい感じになってしまっているということを思えば、香北町の活性化についても、検討委員会を立ち上げて進んでいっていかないと、丁度美良布保育園も新築になりますので、ちょっと考えていかないといけないだろうなど。

例えば図書館を、アンパンマン図書館をどうするかっていうのもやってる、保育園もやってる、他のことはちょっと分かりません。他もやってるって、こうポツポツこう線で立っていますけれど、やっぱりそれを面にしないと進みません。

浜田委員 本来言うたら、副市長なりがおって…

宮地委員 そうそうそう。

浜田委員 ほんで支所長にある程度の両方が話しながらやるというのがえいけど、おらんし、まあ市長が全部やらないかんってる部分もあるし、各課は自分の仕事の縄張りがあるので、誰かがこうまとめてそれをやるというのが、どうしても必要になってくるね。

教育振興課長 やっぱりこう課を越えたところで見に行って調整をしていく必要がある。

宮地委員 それは本来副市長の仕事やけどね。

教育長 そうです。

教育振興課長 多分4月からって言いよりますきね。

宮地委員 だから、そう言いよったから、基本的にそれも踏まえてちょっと見直しを。

生涯学習振興課長 話がごめんなさい、外れて申し訳ない。

宮地委員 いやいや大事なことです。

教育長 大事なことです、大事なこと。物部の支所も忙しいんですよ。忙しいのに…

教育振興課長 すごく忙しくはないけど、こういろいろとやらないかんってところが一杯一杯やき、忙しい…

生涯学習振興課長 何をどうしたらいいのかが私もよく分からん。

教育振興課長 覚ええないかんことが一杯一杯あって、けど来る人は少ないです。

生涯学習振興課長 たまにしか来んから、よけ覚えれんし…

宮地委員 難しいね。

教育振興課長 そこが一杯一杯やっていうところが、温度差があるところもある。そこへ行って見たら行ってみたで大変さもある。

教育長 大変です。何か小規模校と大規模校、山田小学校は一杯人がおって、分掌も分けられるんです。これももう無くなりましたけど例えば谷相小学校、もうほんとに校長1人で、教頭もいない、養護教諭さんもおらん、養護教諭もやらないかんっていう学校の時に、来るものは全部一緒なんです文書、全部一緒なんです。ところが、谷相小学校は1人でそれを全部やらないかん、予算のことまで。ほんならもう出来ないです、無理なんです。とても無理、期日には間に合わん、全体無理。いろいろ子どもがおりますので、一緒に授業もしてるし、けど山田小学校のほうは人がおるから、その文書とか一杯来ても、その人たちがやるから何とかやれていくけれど、でもこっちはこっちで忙しいっていう、その忙しさの違い。来るのは一緒です、配られてくるものは一緒です。だから手当てが付いてないですけどね、とすることで困りましたね。
というところでちょっと休憩しましょう。

教育振興課長 それでこれ、承認は。

教育長 まだまだ、この次の予算のこととかもしっかりご相談させていただいて、どればあに減そうかというような、もうちょっと協議して承認をいただかん私も不安です。

宮地委員 私ちょっとねえ、心が焦り気味になるんですよ。と言うのは、募集をせないかんでしょう。まずはどういう発信の仕方をするのかとか、ほんで、しかもその都度やっぱり見に来たりしますから、面接記述もきちっとやっぱり決めないかんし、そういう具体の話がまだ見えてこないんです。ところがこれを来年中にやって、しかも子どもも来らせて決めないかんという、だから大変になると思う来年が。

教育振興課長 まあ予定なので…

浜田委員 けど、先延ばししたら絶対いかんで。決めたら決めた中でやらんと。

宮地委員 支所じゃないと多分成功しません。

教育振興課長 なので、此処でこれを出させていただいたのは、最終やっていきますっていうと

ころの腹をくくれるようにっていうところが必要かなというところで。

西委員 Y o u T u b e はもうほんとにいろんな人が見るので…

宮地委員 ポイントはねえ、如何に全国に徹底的に周知して、興味のある人をどんどんこう、質問したり来てもらうように。

教育振興課長 今もう大柝中学校のホームページには、令和6年後から予定って山村留学のつていうのを載せて…

教育長 ますけどね、やっぱり Y o u T u b e にせないかん。 Y o u T u b e に…

浜田委員 今はホームページ見ませんからね。

宮地委員 もうホームページなんか見ないですよ。学校のホームページでぎっちり…

教育長 それがでも議会ではいつもですね、ホームページがどうのって責められる。

浜田委員 まあホームページは載せないかんけども、今、昔で言う冊子と一緒にですよ、冊子を見ないようにホームページも見ない。

教育長 見ませんね、もう。

浜田委員 必要にかられて…

宮地委員 ホームページ、その情報が物凄く古いやつとかね…

西委員 もう全然更新されないから、開けても開けても何か2年ぐらい前のがそのままなのがもうざらなんですよ。だからそうなってくると段々見なくなる。

教育長 そういことですねえ。便利なら見ますよね、そこから Y o u T u b e へ飛ぶとか…

西委員 それが常に更新されてたら見るんでしょうけど、開けても、いやいやいや去年のまま…

宮地委員 あんまり必要にかられないですよ、ホームページはね。

教育長 見ても情報が

西委員 そうなんです。そうするともう段々開けなくなるし…

宮地委員 やっぱYouTubeですよ。

浜田委員 YouTubeでSNSへこう流したやつが、ホームページに飛んでいくようにしちよかないかんがですよ。ホームページだけ、直接ホームページというやり方は、もう見ないです。

西委員 留学とか、やっただけでも、山村留学って下のほうで段々上がってくるじゃないですか。ちょっとヒットしたやつがドンドンねえ。

(休憩)

教育長 もういろいろ懸案事項もございまして、今日はゆっくりお話が出来るので、議案も本号だけ残っておりますけれども、再開をしたいと思います。よろしく願いをいたします。

そうしましたら、スケジュールのところでは、もう日程を先に決めておきなさいということもございまして。つまり、オープンスクールの日を何時にするのか、それから、募集を何時までにするのかとか、そういう具体的な日にちをもうしっかり決めると、学校の小中のスケジュールでしっかり決めていかないといけないと思いますので、そういうところをこれに基づいて、早速に決めていく。

教育振興課長 年度中にとのことですね。

宮地委員 令和6年度4月1日から開校するように、逆算していったらスケジュールが決まりますよね。

教育長 そのうちと言いつたら間に合わなくなるということですので。

教育振興課長 学校のスケジュールもあるので、令和4年度中にそこがきちんと、此処にする、此処にするっていうところを仮でもう抑えておくというようなところ。

宮地委員 それと1つですね、ここに本川の山村留学の要項がありますけど、大体本川なんかがどういうスケジュールで募集をしているのか。要項にはスケジュール書いてないですよ。だからそこもしっかりやっぱり調べておいて、遅れが出ないように絶対しないとけないと思います。だから遅れて二番煎じになったら、ちょっとやっぱりまずいので、まあ電話で聞いたらすぐ分かると思いますけど。なんかそういうタイムスケジュールを全部調べておいてください。

教育振興課長 どうしてもネームバリューの部分で、当初は難しいところもあると思うので…

宮地委員 ただ地の利はこっちがありますから、大栃ですから、空港から1時間ですから。

教育振興課長 と、まあ個室という。

教育長 ではそのスケジュールのところは少し、またこれが必要ということがあれば付け加えていきたいと思います。
少し予算の経費のことについて確認をしておいたらと思いますので、経費の想定につきまして、よろしく願いいたします。

教育振興課長 そしたら、山村留学に必要な経費について（想定）と書いてますのは、こんなのが要るんじゃないかというところで、大まかにしかまとめてなくて申し訳ありません。今後ちょっと叩いていかんといかんとは思いますが。
山村留学実施に必要な準備的経費というところで、教員住宅を寄宿舎へ改修する経費、設計監理は250万円程度で、もう既に予算化もして進めております。12月に金額が出てくる予定でやっておりますが、ちょっとまだ確認が出来ないところではありますが、改修工事の費用的なもので言ったら3,500万円程度で、資材の高騰等いろいろなことがありますので、今後ちょっと、ここについては不確定なところもありますが3,500万円程度。
寄宿舎の設備関係の費用、エアコン等、この間ちょっと設計の業者と確認をしたところ、エアコンとか固定をしちゅうものについては、工事費のほうへ乗せているというようなところもあるので、ここら辺ちょっと変わってくる可能性もありますが、抜けている部分もまだまだあると思います。ざっとこれが備品とそれから消耗品、ごみ箱に至るまでというところですけども、そういうところを含めて、1,000万円程度になるのではないかというところで見込んでおります。
この2つを足したものが、準備的な経費というところで4,783万円程度必要であろうというところで、令和5年度の当初予算に乗せていくような形を取っ

ております。

これをそのまま乗って行ってないかもしれません。もうちょい工事費は膨らませたりとかしておりますが、まだこれから1月に財政の査定もありますので、ちょっと厳しい折で、かなり厳しい査定を受けなければいけないというところにはなってきておりますが、教員住宅の改修については、設計の費用については、もう議会でも承認をいただいて進めているところではあるという状況にあります。

教育長 これは市の一財ということですか。補助金とか起債？

教育振興課長 過疎債かな、過疎債とか有利なほうも使うんですけど、合併特例債よりは過疎債のほうが有利やと聞いてますので、物部はそれが使えるというところで。

教育長 財源は過疎債のほうでやっていくと。ちょっと優遇しても、余り切られずに済みそう？

教育振興課長 いやそれはもう、市としてのお考えやと思います、ここについてはもう。これをやっていく、やっていかんというところも、お金が付くか付かんかによって、もうやれるやれんというのは、決まってくる場所もあります。そのところはもう、物部の活性化の為にこれをやっていくか。市長も活性化については、やっていくという方向というところを信じて出しておりますというところなんです。ただまあ、教育委員会の費用はなかなかかさんでおりますので、スクラップアンドビルドっていうところをちゃんと考えていきなさいというところで、枠配分から言うたらもうはみ出てます。はみ出放題はみ出てますので…

教育長 ほんとはねえ、箱と人件費ですから。

宮地委員 もう今まで使うてきましたからね。

教育振興課長 ただ財政と話をしている中で、この教員住宅って今までずーっと使われてきてなかったものを利用するということについては、やぶさかではないという話はしてきたところではあります。ただ、経常的にかかる経費が、その裏にありますけど、そちらがどうしてもかかってくるというところがあるので、ご説明をすると入寮生が6人、舎監の先生が1名、寮母さんは1人でも2人でも構わないんですけど、余り荷を掛け過ぎたらしんどいかなというところで、5人ぐらいを交代制で地元で回してもらうたらどうかという想定の下で書いてますが、単価と

かそういうところについては、香北町の先ほども説明しました啓明寮の単価、それもこれ令和2年度ぐらいに試算をしたので、その時の単価のまま置いてるので、これからプラスアルファにはなろうかとは思いますが、基本的には朝夕必要な部分と、朝昼晩が必要な部分というところで計算をして、諸手当、通勤手当とでざっと350万円程度で、それへ舎監教諭というのは、20人までの寄宿舍については1人付くということを県で確認をさせていただいてますので、舎監の先生はいらっしゃるんですけど、土日はお休みというところで、そこを担う舎監さんが必要なというところで、労働基準法に照らしたらなかなか厳しいということころは、大川村の次長さんにもお伺いはしているところなんです。夜中も、寝てから朝起きるまでという8時間程度を担っていただくという部分は、それではなかなか厳しいところはあるかもしれんけどというところですけど、もう押しなべて、押しなべて8時間雇って、305日で250万円程度というところを試算をしております。あと需用費、生活するわけやなくて、そこで必要なもの、それから食材費、食材費も今啓明寮の1食の食費でやってます。

それと、寒いので燃料費、水道料、電気料、電気料もちょっとかかるかもしれませんが、それが350万円程度1年にかかる。役務の、電話をどうするかっていうのは、今後考えていかんといかんですけど、まあ啓明寮にあったので、こころを全部試算をしております。それと、使用料はNHKの、テレビはどうしても必要なというところで、その分と合わせて、全部で合わせて1,000万円程度は年間かかるのではないかと試算をさせていただいております。

それで先ほど説明したように寮費、これから検討していただくようにはなるんですけども、中を取って、本川の3万円と大川の5万円の中間の4万円で、プラス多分給食費が発生してくるので5,000円程度月に、保護者の1カ月の負担的なものを考えて5万円にならないっていうところを想定をして、今4万円掛ける6人分、それと給食、ここに書いてあるのは給食費なんですけど、これを掛けて11カ月で、大体280万円弱ぐらいなので、経常的にかかる経費の中から寮費の部分の引いた分の700万円、800万円弱ぐらいはどうしても一般財源として年間必要になってくる額ではないかというところで試算をします。

補助金等が無いかというところで確認をしました。大川と本川については、寄宿舍の補助金というのに該当をする部分があるという話を聞いてたので、使えるかなと思ってたんですけど、その要綱の中には市内の交通手段とかが無くなって、寄宿舍ってどうしても無いといかんとか、そういう要件がありまして、山村留学については、基本的には補助金はありませんということでした。ただ本川、大川が該当するのは、僻地の学校だからというところで、僻地についてはその限りではないというところがあって、その2つについては補助金が使えます。香

北中学校の啓明寮の中にも、使える子どもさんと使えない子どもさんがおって、使える子どもさんの分は補助金を充ててるんですけども、食費程度の方です。大栃のほうは僻地には該当しないというところで、補助金は無いということを確認をさせていただいてますので、この800万円弱ぐらいは毎年の一般財源というところになります。ただ、人件費のほうが主やというところもありますので、そちらについては物部町の活性化等も考えて、地元にと落としていただくというところと、それから、Iターンとかで来る人達の就職先というところも視野には入れられるかなあというところがありますので、そういうことで厳しい財源の中ですけれども、説明はそういうことでさせていただこうと思ってるということです。

大川村が今Iターンで来ている人が、寮母さんとか、舎監さんのところで働いてもらっているというところもちよっとお聞きをしたところですので、市外からと言うよりは、市外と言うか物部町外と言うよりは物部町で回していけるような形をして、そこにお金を落としていく、経済的な循環もさせていくというところも、ひとつ大きく説明をしていきたいところかなというところです。なかなか一財として大きい金額ですので。

宮地委員 地元の方にお金を落としたりえいですね。

教育長 では試算を説明させていただきましたが…

教育振興課長 大きく違うちよったら申し訳ございませんというところです。

宮地委員 いやこれ変わってくるきねえ。今はあくまでこう、計算しちゅうだけのことやき、大きく変わるものもあるし。

教育振興課長 しかも啓明寮がベースになってのところです。

教育長 賃金が、1,000円っていうのはどういう感じなんでしょうかね。

教育振興課長 分からないので、一応1,000円ぐらいしてしちゅうんですけど。

宮地委員 最低賃金が上がりましたよね。

浜田委員 まあどうしても、無茶苦茶言うと、舎監教諭やないけど、こういうのも教育に携わる人やったら、地域おこし協力隊みたいな方をここへ付けたら、それが全額消

えたり。まあ6人、7人増えるがやったら、その収入の面で言えば交付税対象なので当然、今どればあ、1人当たり10万、20万円知らんけど入ってくる、そういうこともちゃんと。要は人が増えることによって市の財政収入が増えるというので、1人当たりのね、使うほうだけ言うんじゃないで、入って来るほうもちゃんとだったり、香美市の場合は地域おこし協力隊をなかなか入れないので。

教育次長 定住推進課から協力隊が、要るところはありませんかって…

浜田委員 あっ、言うて来た。
ほんまは新しい考え方とか、これやりたい人が、安くてもやりたい、生活が成り立つような形であれば、まあ3年間という期限があるけど。

一圓班長 何か物部のICT支援員をそれで、協力隊でやろうかっていう話が、チラッと声が出て来てたので、それと絡ませて、何かこういい方向があればいいのかなと。

浜田委員 まあ生活が成り立たないとなかなか来てくれないけど、どんな人が来るかは分からないというリスクはあるんだけど。

教育振興課長 まあいろんなことをちょっと考えていかんといかんとは思います。
ひょっと、これ令和6年度からのことなんですけれども、令和5年度の後半、2月とか3月は、電気料とかそういうところは補正予算かなんかで組んでいかんといかんかなとは思っています。まだ立ち上がってもないのであれなので、補正で寮母さんの準備期間であったりとか、体験入学であったりとか、そういうところに対応出来る分を令和5年度に、12月頃に補正をして2月か3月に、そのスケジュールが確定をしたら、1月か2月、3月の辺りでそういうことも考えていかんといかんかなあというところがあります。

教育長 やっぱり寮母さんを確保しておかないと、お金も付きましたあれしました、じゃあって言うた時に、いや実は居ないんですでは困ると思うんですけど。

教育振興課長 今、一生懸命地元の人には、ここ寮母さんのところは必要やきねってというような話は各所でさせていただいてまして、今後のことにはなりますけれども、自治会長さんにご相談をした時にも、スッと集まる地元のご婦人に声を掛けて、7人、8人は集まったりするろうというような話もあるので、そこを詰めちょかんといかんなど。

教育長 そうですよ、その時に…

教育振興課長 そうやって言われたので心強いなと思って聞いたんですけど、あと集落活動センターがきちんと実質動き出したら、そちらとの連携ということも考えていく可能性があるかなと思います。

宮地委員 まだ動いてないみたいでしょう。

教育振興課長 全然なんか…

浜田委員 ただ先のことを言いよったら、まあ工科大なんかも寮を建てる時にはもう本当に、寮母さん、原先生まで寮母になってたけれど、原教育長が1年目ねえ。けれど、なかなか大変やったですよ1年目は、もうほんとに。ほんで、学生募集なんかも2年前から始まって、職員付けて。

教育振興課長 なかなか厳しいのが…

浜田委員 要はこの住む所の体制もちゃんと決めて、ちゃんとなっていないとなかなか難しいのでね、対象が中学生だから。大学生やったら放っぼり出したらまだ構んけど。

教育振興課長 寮母さんは地元で通うて行けるようなところを思ってます、今のところは。香北中学校の啓明寮も、朝の人と晩の食事を作る人っていう分担を分けて、通って来てもらっているっていうところなので、そういう想定はしてます。ウイークデイは舎監の先生が最後寝泊まりをして確認をしていただくっていうところと、寮母さんのところはちょっと分けてと思っているので、そこについては、また地元のほうにはまた投げ掛けて、CSの会長にもお話はしてます。これがうまくいく為には、どうしても寮母さんとか、そういうところは地元で賄えていけるように、尽力してもらわんといかんのでっていう話もしてきてますので。

教育長 いざとなった時に引かれたら困るので、やっぱり今から名前をはめてお願いをしていきよらんといかんかなあというふうに思います。

教育振興課長 この間の物部っ子F e s !を見よったら、一杯ここら辺におるおる言うて。

教育長 現実になった時にやっぱりそこがお願い出来るかということは、この費用も併

せて一定お示しをせんといかんと思うんですね、勤務形態とか、それもちょっとこう表にまとめたりなどして…

生涯学習振興課長 調理するき資格とか要らんの？

教育長 要るでしょう、それ。森本さんは持ちちゅう、1人持ちちよつたら。

浜田委員 調理する人はいらんけど、誰か1人が資格を持ってたらよい。

教育長 そう、そう。

宮地委員 本川のこの間視察に行った時に、1人寮母さんが南国市から通いゆうという人がおりましたよね、やっぱり南国市から本川まで通うの大変ですよ。だからやっぱり、本川も山やき人がおらんのじゃないかなと思ってね。だからやっぱり今教育長が言われるように、人を早く探して結局足らん言うたら、山田か南国市とかから来てもらうようになつたりすることも可能性がありますからね。

教育長 寮を開けなくなったら大変なことになる。もう今から内諾を得ていただくというところかなと、もう寮の建設にかかったら直ぐに、内諾をいただけるように、森本さんや小松さんと話をしながら進めていく必要があるかな。どんな感じでしょうね。

小松委員 自治会長も辞めるんですよ、あと1年だけっていうことで、今新しい人を探してるみたいです。事務員さんも大栃から要りますからね、2人体制、自治会長とも、2人とも探しよるもので、今のところ誰もおらんです。

宮地委員 自治会長も結構忙しいですきね、やってみたらいろいろ会があつたりね。

小松委員 大栃の場合は物部の代表になつてるんで、会とかは多いし、そうじゃなかったらそんなにあれですけど。

教育振興課長 調理のほうの資格か。

教育長 森本さんとかお持ちじゃないですか？だから大丈夫と思います。そこは森本さんに。

宮地委員 森本さんは大丈夫、あの栄養士、間違いない。

浜田委員 兼務してもろうたら、給食の。

教育振興課長 給食は外から来てます、調理員さんが。

教育次長 物部の、地元。

教育長 じゃあその方に、物部の給食も。

生涯学習振興課長 給食と一緒に作ってもろうたら、いかんか、一緒か。

教育長 朝と夜。

教育次長 給食の人は出来んでしょうね、朝、晩はなかなか。

教育長 と言うか、学校の給食を引き上げるみたいな話がありました。

教育次長 ああ、香北に統合したら大丈夫ですよ、またその話は。

生涯学習振興課長 ほんとはその時、その寮母で働いてもらうという。

教育次長 香北へ統合したらね。

教育長 その話は…

教育次長 まだ全然出てない。

教育長 まだ全然出てない。

宮地委員 あそこを改築じゃいうことにならんでしょうね。

教育長 ならんすねえ。

教育長 何とか抑えておかないと、ちょっと凄く心配です。開いたものの居ないってなることが怖い。

- 教育振興課長 もう来年度については水面下で、これ予算的なものはどうしても予算立てがあるので、公にハローワークに出すとか、そういうことは全然出来ないところなので、地元のところでこういうことがあるので、構えて欲しいというところをお願いをしていく必要はあると思います。
- 教育長 もう来年度早々に進めていきたいというところでしたいと思います。予算的にはこういうところがございますが、お構いないでしょうか。
- 教育振興課長 ヒアリングにも今後の資料をして出していかなといかなので、もうちょっとこれを煮詰めていかなといかんとは思います。
- 宮地委員 大枠ではけんどこれでえいと思いますよ、資料としては、微調整は有るかもしれませんが。
- 教育振興課長 単価の見直しを出してます。
- 宮地委員 いろんなことが分かりませんので。
- 教育長 それから、次にこの外観でございます。今この前の綺麗なカラフルなものが一切無い状況で、まあアパートですから、だから個別になっているので寮としては危ないと言うかこう、寮の中に住んでいるという感覚が全く無くて、自由に出入りが出来るというような雰囲気になっていますので、そうじゃなくて寮として存在していて、施錠がされて出入り出来ませんというような造り替えをさせていただきたい。
- 教育振興課長 それとこれ、一番1階のところは全然フリーになってますけど、ここの黄色い柱と柱の間には門が、玄関が出来る予定です。鍵が掛けれる、施錠が出来る、外からの侵入が出来ないというようなことはいろいろ考えて、今設計をしてもらっているところです。
- 宮地委員 裏も大丈夫ですか。
- 教育振興課長 裏もアルミのもので囲うというようなところを、全面的に囲うことは出来ません、消防法のこともあるので、ただ、階段のところから侵入が出来ないとか、そういうところは考えて設計をしていただいているところです。

教育長 この写真大分違うと思いますね、雰囲気、いい感じ、ニューヨークっていう感じ。

宮地委員 今はね、裏が無い、裏山が、学校が無い。

教育長 裏山無い、山無いです。

教育振興課長 そこまで言わない。イメージ図なので。

教育長 イメージ図って書いてます。

教育振興課長 これイメージですから、まだ。

教育長 併せてですね、入園及び入学者数についての表のところでございます。一番下の大柵中学校の令和2年度、3年度の生徒数を算出しております。6年度のところに、これは1つの案として1年生2人、2年生2人で、3年生を2人にしようかという案で示しておりますけれども、これはつまり初年度に6人全部を入れてしまうと空きが無くなるということもあつての算定でございますけれども、基本的にはもう初年度から6人以上の応募があれば、6人もう全部取ると、その翌年も取ると、ほんならどうしますかっていう話になってまいります。そこがもう一つの課題だというふうに考えてございます。実はこの建物をあと3名ぐらいは、リフォームすれば、リフォームプラス、舎監さんが住むお部屋、舎監さんのところを多少活用すれば、あとプラス3名は望めそうですが、プラス3ということになると、これはもう市のほうで動いていただかないと厳しい状況になります。

浜田委員 実際、入ってくるという姿が分かれば、市長含めて考え方が変わってくると思うんですね。それを最初から抑えてしまうと、1人、2人とか言うのはどうかかと。やっぱり募集する以上は、その効果を外に対して分かる状態にしてあげないと、倍率が高いから良いもんだというような形もあるかもしれないけど、そこまでは言えないですね。だから来た方は出来るだけ受け入れるという方向のほうが良いんじゃないかな。

教育振興課長 まあこれもやってみんと、蓋を開けてみないと…

宮地委員 2、2、2でそうじゃないかもしれませんよね、いびつになってきますからね。

教育長 そして初年度12名ほどの募集があったらどうでしょう。

浜田委員 けど、どっか借り上げる？

教育振興課長 けど、その中からやっぱり、大栃中学校に通うに当たってをきちんと精査をしないといけないと思いますので、12人来ていただいたら有難いなというところではあります。その子がきちんと通えるかっていうのはきちんと見えるというところもあるので。

浜田委員 そうですね。

教育長 結構大川も本川も二桁ですので、無い話では無いとっていて、そうなったことも考えておかないと…

教育振興課長 そうなってきたら…

教育長 もう啓明寮ですか。

浜田委員 もうバスで。

教育長 そうですね。

教育振興課長 スクールバスがございます。

教育長 そういう方向も視野に入れて募集をかけると。

宮地委員 来年もコロナ禍ですきね、そうなってきたらやっぱり希望は少ないはずじゃないと思うんですよ。

教育振興課長 大川中学校は通うのに香北、物部間よりも遠いかもしれませんというところを通わせてますので、まあ考えれんことではないですが。

浜田委員 そうなったら嬉しいけどね。

教育長 嬉しいですね。そうなるように頑張りたいと思います。

教育振興課長 まあ成功体験を重ねて地元についてというような何かっていうのも、前の市長とお話をしている時には、新しく建てるというところも考えたらっていう話も出てきました。ただまあ、教員住宅を放っぱらかに、言葉が悪いですが、ずっと使用していない建物があるというところの活用というのも考えていかんといかんというところで、教員住宅を改修するという案をご提案させていただいたところなので、まあ成功体験を重ねて、今後のことを考えていけるようにしていったらどうかというところもありまして、こういうところですよ。

教育長 じゃあよろしくお願いいたします。
それと、発信の仕方についてですけど最後、発信の仕方についてですけども、言っているようにY o u T u b e でやはり発信をする必要があるだろう、ここは工科大の竹内課長さんにも随分いろいろな分野で大栃中学校がお手伝いいただいておりますので、そういうことも考えていかないといけないと思いますし、校長先生が幾ら出来るからと言って、やはりお頼み出来るところはもうお頼みをして、していただくということで行きたいと思います。

宮地委員 負担が多過ぎますきねえ。

教育長 はい、そうです、校長の負担。

浜田委員 市のホームページもちゃんと更新して、やれる最低限のことなので。

教育長 そうですね。

浜田委員 ほんで、非常に見にくいホームページやけど、もうちょっと…

教育振興課長 今議会とかでも、子ども議会でも散々言われてますので、考えていくんじゃないかと。

宮地委員 あんまり変わってないですよ。

教育長 ところがこの間の政策会議では、お金がかかるからちょっと見送りますみたいな話に。そんなことない、探したらと思うたけど言いませんけどね。

浜田委員 非常にね、現代的じゃない。

宮地委員 ただ、やっぱり募集をしたりして応募していただいで、応募していただいた方にしっかり面接をして、確実にやっぱり良い方に来てもらえると。それをしっかりと、その2つをしていかないと、パパッとやってしまうと失敗しますので。

教育長 分かりました。そこはうんと校長も気にしていました。

宮地委員 そうです、そうです。

教育長 それで、中四国、例えば大阪、兵庫、岡山、それと四国4県には、それから高知県内も含めてやはり足を運んで、お願いに行く必要もあろうかというふうに思っていますので、そういうことも精力的にやっっていかなといけない。

教育振興課長 どっかから予算は紡ぎ出していかなといかんなかあと、その予算を今から捻出するのがなかなか厳しいので。

教育長 1人ずつ拾っても。

浜田委員 移住、定住なんかは、それぞれ東京行ったりいろいろしてるから、いなかみなんか定住に行って、その時に配ってもらう。ほんで、SNS、YouTubeを含めて、そういう発信が出来るような形にして、ホームページから直接入るんやなくて、そちらからQRコードなんかで覗いて入れるような形、興味がありゃあそれを見て、QRコードから入っていけばいいので、そういうことを、周りが動いているところもあるから、その際にも持って行ってもらう、教育委員会だけがやるんじゃない。

教育長 そうですね。はい、いろんなどころへ。

浜田委員 工科大の開学時には、お金をかけています。四国圏内と関西圏内、広島辺りは、その教育委員会、高校の校長のOBを雇って全部動いている。

教育長 ああそうですか、そうですか。

浜田委員 だから初めてのところは知らんから、それぞれの高校へ行って、名刺替わりやないけど、まあそこが学生募集の命だから。

宮地委員 地元の管理職、OBを雇うんですよ。
教育長 なるほど。

浜田委員 だから7、8人おったんやないかな。

教育長 何とか伝手を頼って、知り合いのいる範囲で。

宮地委員 学校周りしたりして、いろいろするんですよ。

教育振興課長 なんかお金が天から降って来てくれたら。

浜田委員 けんど仕方ない、もう動いたらお金が要するというふうな、家庭でもそうでしょう。

教育振興課長 そうなので、今教育の予算ってかなりの莫大な、この香美市の中では位置を占めておりまして、スクラップアンドビルドをちゃんとしていきなさいというのが、財政のほうから命題として毎年毎年言われゆうことなんです。ただ、そう言うてもいかんというところで今までやってきたんですけど、なかなかこの後に及んで来たら厳しい状況やというところがありまして、なかなかというところです。

宮地委員 もうけどハードの事業って、もう保育園ぐらいでしょう…

教育長 そうですね、あと西庁舎がある。

教育振興課長 今度ご報告のところでもた、これが終わったら。

教育長 済みません。それでは、第5号議案につきましては、説明を詳細にいただきましたが以上でございます。ご承認をいただけますでしょうか。

「はい」という声あり

教育長 それでは、最終確認として、この山村留学について積極的に取り組んでいくということを決めたというところでございます。どうもありがとうございます。それでは、以上を持ちまして定例会を終了したいと思います。

(閉会時刻：午前11時40分)